

湘南にのみや 議会だより



▲二宮町の公認キャラクターが議会で登壇！

9月定例議会 (9/2～9/26)

- ◆平成27年度決算に対する総括質疑に3議員が登壇… 2～3
- ◆決算審査と討論…………… 4～5
- ◆平成28年度補正予算、陳情・人事…………… 6～7
- ◆一般質問で4議員が登壇…………… 8～9
- ◆委員会報告…………… 10
- ◆編集後記ほか…………… 11
- ◆議会報告会の案内…………… 12

町長1期目の折り返し
今後の考えを問う
根岸ゆき子議員

Q 就任後、緩やかに町を小さくする時期と発言。まちづくりのこだわりは。

A その問いに直接答えるつもりはない。町民のために優先順位をつけて何をしていくべきかという判断だと思っている。待ったなしのところをしつかりやるという意味でスクラップ・アンド・ビルドを進めるとのことだ。トップダウンで打ち出し、注目を浴びるのではなくボトムアップが私の姿勢と言えば姿勢だ。職員からのボトムアップは構造改革で進め、町民からは提案を受け止める場を作る。

Q 苦労や課題は何か。

A 財源の確保に尽きる。人口減少、税収の減少は何よりも念頭に置いて考える必要がある。

Q 予算査定を傍聴可能にすれば、予算編成の透明化が進み、町民との議論が深まるのではないか。

A それは一場面であって、そんな状況ではない。財政状況や全体の枠組みを丁寧に説明した中で理解いただく場面を作る。

Q 図書館の人員費削減計画を凍結したその後は。

A 正規職員を4名体制に戻すことも財政的に難しく3名体制で運営。職員削減計画の復活はない。今後図書館の長期的考えを取りまとめ、実行する。

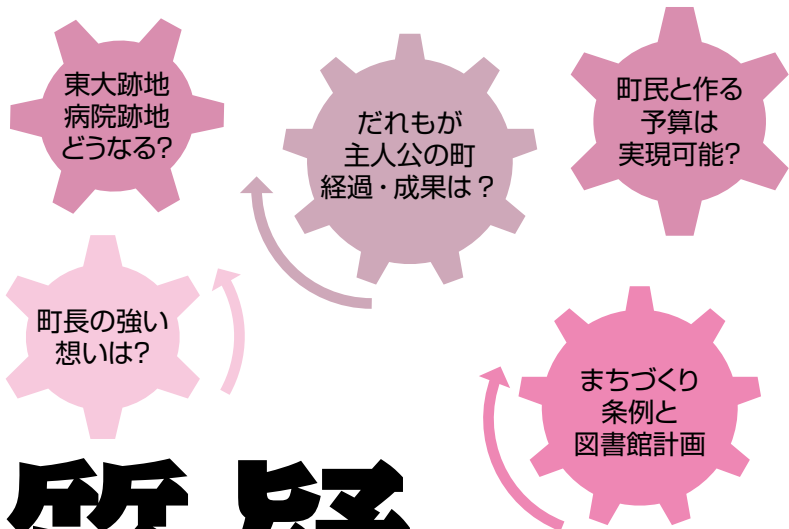
Q 「まちづくり条例」は「二宮町開発事業における手続きおよび基準等にシフトし当初の目的は果たされた。今後どのように検討するのか。

A まずは開発時に拘束力を

持ったための条例を策定中だが、運用していく中で足りないところについて意見をもらいながらまちづくり条例制定に向けて考えたい。

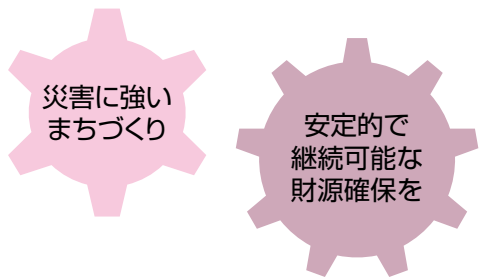
Q 東大跡地と小児病院跡地

については、現在検討委員会に諮られている。繰り返し検討してきた町の考えを審議の資料に書き示すべきだが。
A 今の状況の中でどういう可能性があるかを見極めて方向性を出したい。



質疑

方向性を示し 実現を!!



本の補修作業中。図書館運営はボランティアの協力も欠かせない

安定的な自主財源確保と指定管理者制度の導入を求む
二宮節子議員

財源を生み出す努力は

Q 少子高齢化により自主財源の町民税が減収している。定住人口確保に向けて、未来

への施策を開始した年ではあるが、人口の推移からすると、大幅に伸びることは考えにくい。町長として、更なる強いメッセージとアクションは起こすのか。

A 定住促進は、大きなテーマだと捉えている。子育てしやすい町、安心して住める町づくりに関する事業を行いながら、町外、県外の方に対してプロの力も借りてPRする。ポイントを絞って、わかりやすく、もう一度伝える方法をしっかりと考えなくてはならない。次年度も子育て世代に、アピールできる予算編成をし、定住促進を図り重要な自主財源の増加につなげる。

指定管理者制度導入は

Q 経費節減を図れる可能性が高く、県や近隣自治体では導入しているが、町は、推進しないのか。

A 指定管理運営は、提案の通り、施設ごとではなく複数の施設を管理・運営することでメリットが生まれ、業者が参画しやすくなる。また町民サービス向上の可能性を今後も研究していく。しかし、施設が老朽化している状況では、委託先を探すことは難しい。

災害に強い町づくりとは

Q 災害時地区本部の移動無線機の完全配備はいつか。また町民の自助・共助の理解は充分なのか。

A 早めの災害対策は減災につながるが、限られた予算で地域のバランスを考慮した計画を立て、平成29年度中には配備を終える見通し。自助については非常持ち出し品の準備を広報で勧めるなど、周知を図っている。共助に関しては、助け合える間柄の町内全域での構築を目指し、安否確認訓練や初期消火訓練を実施している。



西中学校地区懇談会では今まで以上にリアルな訓練が行われた

平成27年度 決算 総括 具体的な 町民参画

どうなる?
公共施設
町有地

地域包括
ケアシステム
進捗は?

定住
促進は?

指定管理者
制度の
導入は?

人口減少の百合が丘
集合住宅の再編を図れ

小笠原陶子議員

Q 地域包括ケアシステムを進めるために、ミニデイサービスやサロンに使用されている地域の集会施設は、トイレなどをバリアフリーに改修すべき。和室でも、机と椅子の購入を進めてほしい。百合が

丘は独自に購入した。町に予算がないなら、地域に相談し働きかけてほしい。

A 高齢者は家から出てコミュニケーションをとり、体操をする等が大切だ。これからの介護予防は、総合事業を含めて進めていくという覚悟はある。支障があるところは、不便をかけないよう改修を地域と一緒に考えていきたい。

Q 二宮町は人口減少が続いているが町北部の百合が丘で顕著だ。県住宅供給公社は28年4月10日に住民を集めて二宮団地再編事業として取り組みを始めた。あとは県営住宅とサンコーポラス雇用促進住宅の問題だ。県営住宅に関しては、再編計画はあるが先延ばし。スピード感を持って取り組んでほしい。

A 県営住宅再編は黒岩知事に直接陳情した。政党要望にも載せている。

Q 雇用促進住宅は60世帯の住宅だが、規制改革推進のため33年までに住宅の譲渡等を完了させる。廃墟にならない

か近隣住民に不安がある。

A 雇用促進住宅は既に入札の公告等がされて東日本ブロッックで、522物件、合計で約291億6500万円建物関係を全部売却する。28年10月12日に開札をするということなので、この結果がどうなるか注視し、町側で情報を入手したら、一色小学校区地域再生協議会等で、情報提供したい。

Q 公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会の2回目が開催された。全部で3回開催の委員会が答えが出るのか。

A 3回で大方針を出し、町民と意見交換の場を持ち、次年度も継続して、さらに結論を絞り込む。



空き家が目立つ
百合が丘の集合住宅

追求した予算執行を求める

決算審査の概要

平成28年9月15日から4日間にわたり決算審査特別委員会にて審査を行った。

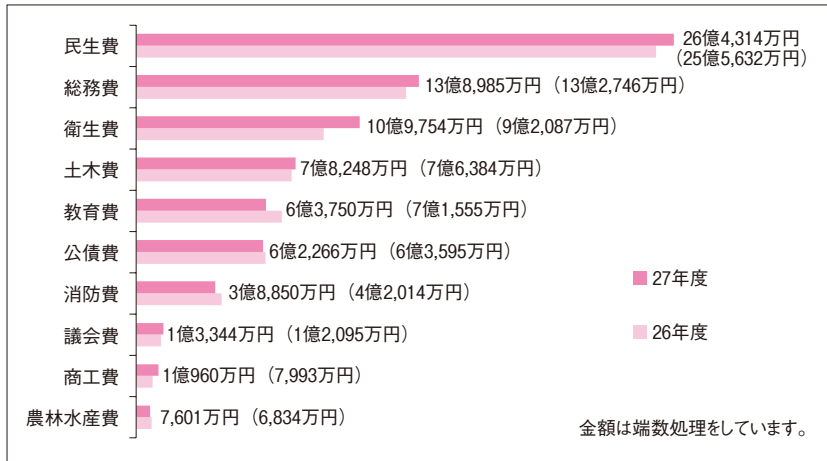
- ◎委員長 根岸ゆき子
- 副委員長 桑原英俊
- ▽委員 野地洋正
- 渡辺訓任 一石洋子
- 二見泰弘 小笠原陶子

委員会結果
一般会計は賛成5・反対1、特別会計は下水道事業が全会一致で認定、他の3会計は賛成5・反対1で認定した。

決算額の表

会計名	歳入	歳出	採択結果	
一般会計	81億4101万7千円	78億7305万4千円	12対1で可決	
特別会計	国民健康保険	39億4257万9千円	38億7686万5千円	12対1で可決
	後期高齢者医療	7億8718万6千円	7億5672万7千円	12対1で可決
	介護保険	22億7421万3千円	21億8732万5千円	12対1で可決
	下水道事業	9億6020万9千円	9億5193万円	全員賛成で可決

平成26年度決算との比較



安心の学校生活へ一歩前進！
バリアフリー化の一環で
西中学校に昇降機が整備された

審査意見

1 住民サービス向上と業務の効率化を図るため、さらに広域行政を拡充された

2 業務委託で得られた各種データは、部署横断的に活用するとともに、町民参画に役立てられたい

3 事業の目標達成意識と意欲を醸成する職員研修を進められたい

4 具体的な状況設定に基づく地域防災計画の策定及び訓練を通して、自主防災組織の育成を図られたい

5 広報について、全職員が町の活動を活発にするという観点から、ホームページを含めメンテナンス・改善を進められたい

6 自殺予防推進事業について、若者の自殺が増えるなか、さらなる啓発と対策を講じられたい

7 深刻化が懸念される不登校・学級運営の困難に対し、有効な対策を実施されたい

さらに目的を

賛成討論

子育て支援の強化に向け、小児医療費助成を中学3年生まで拡充。ITふれあい館を小規模保育園とし、開園を進めた。町総合計画の中期計画と総合戦略の策定により、町の運営に方向性を示したことは評価する。市民参加の手法はコンサルタント任せにするだけでなく、IT機器等も活用し、忙しい人も参加できる仕組みを研究せよ。20代・30代の自殺が増えているとの報告があり、うつ病に対する周囲の理解の促進やゲーミングの積極的活動をさらに期待する。二宮西中学校バリアフリー化改修工事は、インクルーシブ教育に資する事業であった。中学の不登校生徒の微増



については臨床心理士の更なる活躍に期待する。町は介護認定率が他市町に比べると低く、ラディアンが元気な高齢者に資する複合施設として有効活用されていることは大きな利点。ITふれあい館がラディアンに移動されたが、パソコンが苦手な高齢者等さらに情報格差の縮小に努めるよう要望する。



子育て支援強化は評価
住民参画の各種計画策定に工夫を

小笠原 陶子 議員

反対討論

一般会計（反対）小児医療費助成の中学校卒業までの拡充、駅前保育所整備などの子育て・教育をはじめ、ゴミ処理広域化の開始などのくらし、防犯灯のLED化などの防犯、平和首長会議参加などの平和への取り組みなど、広い分野で前進。さらに使用料で消費税の転嫁をしなかった点を評価する。



在宅介護奨励金の廃止。77歳対象敬老祝い金の支給額減額は後退。介護人材の確保・育成で課題が残った。
空き家対策を含むまちづくり条例制定作業の速やかな着手を求める。
個人番号は制度が問題で、諸事務が町の重荷になっている。財政調整基金の積み増し、臨時財政



子育て支援で前進したが
高齢者福祉などで後退も

渡辺 訓任 議員

皆さまからの陳情

【採択の討論】 渡辺 地位協定の改定による主権の回復は、安保条約への考えを越えて一致できるオール日本のアイデンティティの課題。
一石 日本人は沖縄の基地問題に我がこととして関わり、地位協定と北東アジアの安全保障環境の再構築に踏み出すべき。

【不採択の討論】 前田 総理は、地位協定の運用改善を図る考えを示している。海外での自衛隊の活動にも関わってくるので慎重にならざるを得ない。野地 抽象的であり実現の可能性が低く、町議会の権限外である外交問題の意見書提出はふさわしくない。
二宮 公明党は、日米地位協定の見直しを視野に、実効性のある再発防止策を日米両政府にすでに要望しているため。

陳情者は「自主・平和・民主のための広範な国民連合神奈川」
沖縄県の復帰から43年間で、米軍関係者による犯罪件数は5896件。基地のある神奈川県も他人事ではない。米軍関係者にさまざまな特権を与えている日米地位協定を抜本的に見直し、日本の主権を行使できるように、国に見書提出を求めることを陳情。

日米地位協定の抜本的改定を求める！
5対8で不採択
NG




人
人権擁護委員の推薦
2名の任期満了に伴い、添田廣一氏と高橋克美氏が再任された。任期は3年。

事
教育委員会委員に岡野敏彦氏
現在二宮中学校のPTA会長として活躍中。任期4年。

【採択の討論】 柳川 事故から5年半が経ち、避難者は帰郷の念を強くしている。県内でも約3千人が戻れず、経済的な困窮を生み出している。
渡辺 今の状況を作った責任のある国は「原発事故子ども・被災者生活支援法」に基づく施策を速やかに実施すべき。

陳情者は村田弘氏。昨年、政府と福島県は、避難指示区域外からの避難者に対する借り上げ住宅等の無償提供を来年3月限りで打ち切ること決定。神奈川県でもその準備が進められている。住宅支援策を継続、拡充させることと「原発事故子ども・被災者生活支援法」に基づき、抜本的な住宅支援制度を確立することについて国に見書提出を求めることを陳情。

全会一致で採択
OK



各議員の議案・陳情に対する賛成・反対は？

	根岸ゆき子	前田憲一郎	桑原英俊	二宮節子	杉崎俊雄	善波宣雄	露木佳代	野地洋正	渡辺訓任	一石洋子	小笠原陶子	柳川駅司	二見泰弘	添田孝司	結果	
町長提出議案名 (左は議案番号)																
43	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
47	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
52	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
53	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
54	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
55	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
陳情名 (左は陳情番号)																
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
12	○	●	●	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	不採択

※議案について、○は議案に対する賛成、●は反対したことを意味しています。
※陳情番号11～12については、○は採択、●は不採択です。
※添田議長は採決に加わりません。

補正で新事業

一般会計は1億6700万円の増額

主に人事院勧告による変更と、職員の異動を受けての給与の補正。その他、新たな施策を具体化。一般会計は賛成多数で可決。4特別会計は全会一致で可決。

歳入は、地方交付税が臨時財政対策債への振替が減少したため、基準財政需要額が増加し、9300万円増。また繰越金の確定により、3100万円増加。

計測機器配置 (360万円)

未病対策として、健康づくりの拠点に骨密度測定器、内臓脂肪計、血圧計などを配備。骨密度測定器は一台140万円、内臓脂肪計は97万円。

子宮頸がんワクチン接種後の健康調査 (26万円)

子宮頸がんワクチン接種者の副症状の状況について実態を把握するため、町でアンケート調査を行う。年度内には集計を完了予定。

介護ロボット導入支援 (240万円)

介護職員の負担軽減のため、介助と看視に機器の導入を図る事業者に補助。

B型肝炎定期接種開始 (180万円)

新たに、B型肝炎の定期接種を開始。

中村川への排水吐口修繕 (1370万円)

長年の使用で鉄製のふたが腐食・破損。さらに一部中村川の河川敷が壊れているための補修工事。西中学校周辺の雨水が集中するため、構造も見直される。生徒の安全にもかかわるので、工事を急がりたい。

東大果樹園跡地の建物調査 (300万円)

跡地に残されている歴史的な建物についての現況調査。利用・保存について検討するための材料とする。質疑では跡地利用の方向性が決まらない中で支出に疑問が出たが、町は当初、建物を利用対象としておらず、公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会からの提案を受け、調査すると判断したと答弁。

個人番号カード交付事務 (549万円)

個人番号カードの普及が進まないため、普及事務への補助期間を延長。

学童保育民間委託開始準備 (99万円)

来年度からの公設公営化と民間への委託を実施するため。保護者会の負担軽減を実現する一方で、意向が反映される仕組みづくりが求められる。

財政調整基金に1億1500万円

前年度の繰越金が2億3千万円で確定。地方財政法に従い、剰余金の2分の1を積み立てる。

単位：千円

9月補正予算—その他の内容

歳入	補正額	補正後	内容
地方交付税増	92,709	1,159,709	交付金確定による
繰越金増	31,477	221,477	繰越金確定による
4特別会計繰入金増	18,538	18,541	各会計からの戻し入れ
市町村自治基盤強化補助金増	7,600	24,360	地方創生関連事業への交付
地方特例交付金増	6,079	17,079	
歳出	補正額	補正後	内容
財政調整基金積立て	115,000	115,000	今年度末見込みは3億5千万円に
職員給料減	△ 6,543	683,582	機構改革、人事院勧告実施、2名退職を反映
職員手当増	9,310	457,568	
下水道特別会計へ繰出し金増	6,264	391,186	前年度繰越金減
道路反射鏡取り替え工事	879	879	(新)当初予算には新設改良工事あり
犬・猫等死骸回収・処分委託料増	260	1,042	回収+処分委託料を合算

反対討論 個人番号カードの事務は国支出とはいえ、町の業務負担になっている。財政調整基金に1億1500万円も積み立てなくても、他に生活関連で急を要することがあるのではないか。(渡辺) 賛成討論はなし



前田憲一郎
議員

問
安心安全な教育環境の構築について問う

答
町立小中学校5校にエアコン完備「早期は困難」

問
プロモーション事業のカギは管理職の意識改革

答
職員をしっかりと評価し、プロの力を借りて進める



露木佳代
議員

Q 町長の施政方針や町の総合戦略、総合計画の中に「安心安全な教育環境の構築」が挙げられている。最近の気象状況は大きく変化し、気温の上昇が著しく夏日は当然のこと、真夏日や猛暑日が増えている。室内でも熱中症が発症している。集団熱中症等の事故を未然に防ぐためにも児童生徒の健康面からみても、学習意欲を一層高めるためにも、厳しい財政状況の中ではあるが、小中学校の各教室にエアコンの早期設置の必要性があるのではないか。

A 小中学校では、各学校とも、職員室、保健室、パソコン室、会議室等にエアコンを設置している。猛暑日も多くなっていることは認識している。平成28年度の町長の施政方針や町の総合計画、総合戦略でも「教育・学習環境の充実」が挙げられている。すぐにでも設置して、涼しい教室で授業を受けさせたいという意見はよく理解できている。しかし、教育委員会が管理する施設は学校以外にもさまざまな施設があり、老朽化が進んでいて、維持管理や修繕に多額の費用がかかってしまう状況にある。小中学校のエアコン設置については、優先順位としては高くすべきであると考えている。限られた財源の中で、検討しなければ約束できないものではない。



待たれる小中学校へのエアコン設置
(写真は二宮中学校)

者および相談員を置くことはできないか。
A 現在1階カウンスターの2名の職員が時間を決めて、適宜、交代でこどものほんこーなーに出向き、相談員としての業務にあたるよう勤務体制を改善していきたいと思う。また、ラディアン自体が月曜日を休館としていることから単独で開館することはできない。今後検討していく。

Q 町の何をプロモーションしていくのか。
A 自然環境や地域コミュニティなどの子育て環境や利便性などを「にのみやLife」として確立し、近隣地域との差別化を視点にPRする。
Q 人と、人が作りだす空気が良いという移住者の声が多くあるが。
A 伝えづらい部分。今まで出ている魅力の点と点をつなぐ。ストーリーリ化し共感してもらいたい。

Q 委託業者の役割は。
A 町の魅力洗い出し調査や「にのみやLife」のイメージ化、広報の実施、情報発信力強化の職員研修、移住促進用パンフレット作成、魅力発信隊の運営支援等。
Q 仮称にのみや魅力発信隊とは。無償の活動には限界があるのでは。
A 公募と職員などで構成。人数は未定。町のPRや移住促進に関する企画立案などをする。負担をかけないようにする。

Q なぜ業者に委託しなければならぬのか。
A 町民、職員が主体だが他自治体で成功例が少なく、行政として苦手な分野であり、プロの力を借りたい。
Q これまでの施策を見ると戦略不足、政策がブツ切れの印象があるが。
A 平成31年度までの戦略期間の設計図は確かに未確定。進めながら、という部分はある。プロのノウハウを活用し、しっかりとやっていきたい。
Q 来ただけでもわかるような町の良くないところの洗い出しや改善は。
A 指摘された点は優先順位を上げるなど、変えられるところは変えたい。
Q 今後のフェイスブックの投稿には管理職の意識改革が必要では。
A ターゲットに届く投稿ができるよう磨いていきたい。今後も変わらずコメントに返信はしない。
Q 職員の士気を高め、継続するには。
A 新しいアイデア等を積極的に取り上げることが士気を継続させる。前向きに取り組んでいる人はしっかりと評価したい。



場当たりのだけでなく、先を見た戦略的なプロモーションを！

一般質問



野地 洋正
議員

問
公共施設再配置検討事業は
進んでいるか？

答
基本方針、計画素案を作成中
来年度説明、意見集約

Q 事業の進捗、今後の予定は。

A 今年度は検討委員会を1回開催し、今後の予定、各施設と町有地の現状と課題、財政の現状、民間参画の意向調査マーケットサウンディング等について説明した。短・中・長期に分け、基本的考えをまとめて事業計画の素案を作成する。平成29年度には町民へ説明し、町民意見を募集、その意見を反映させて事業計画を策定する。

Q 現況調査対象施設を絞った理由は。

A 町立体育館、町民温水プール、駅前町民会館、保健センター、武道館の5施設に東大果樹園跡地の寄宿舎を加えて実施する。予算面から、利用者が多く未耐震、大規模で設備等に費用がかさむで

あろう施設に絞った。

Q 袖が浦プールの現況

報告書には、施工年不明、休止中で調査の必要なし、廃止後の利活用云々等廃止ありきと思わせる記述が多い。今年度休止したことに対する意見の検証、寄付された土地であることなども考慮すべきだがいかがか。

A 公共施設白書に施工年不明と記載されているためそのまま記載、また各施設は現在の状況を報告している。寄付された土地であること、休止したことへの町民意見の検証、これらを整理し公共施設再配置の中で検討していく。

Q 検討委員会は役割、権限等が明らかでなく、機能していないように見える。決定権はあるのか、年3回で機能するのか。

A 予定も遅れており、議論も進んでいない。勉強会を開催するなど回数を増やし議論を深めていく。委員会に決定権はないが、検討していただき、意見や提案は計画に反映していく。

Q 町の将来像をどのよう to 考えるか。

A 耐震課題のある役場をどうするかを始め、いくつかの案を検討している。方針は移動町長室等を出していく。



袖が浦プールの休止
町民意見を集約し検証すべし！



渡辺 訓任
議員

問
「もともちの家」
運営の安定と改善を求める

答
より頻繁な訪問で
チェックを強化していく

Q 恒道会運営の地域密着型老人福祉施設「もともちの家」の1ユニット閉鎖方針からその撤回までの経緯は。

A 閉鎖方針はスタッフ不足だということであった。恒道会は、人員を確保しサービス維持の目的が立ったと説明している。

Q 勤務体制・シフト組みは厳しいのでは。

A シフトに無理が生じることは懸念。現在22名の入居者。定期の実地検査は内規で2年に一度。町は介護相談員を配置、月に一度訪問している。平成28年当初から人員不足の指摘もあった。施設訪問の頻度を増やし、シフト・労働実態を含めチェックをしていく。

Q 介護従事者の処遇加算金についてはきちんと支払われているか。

A 処遇加算金は公費9割、利用者1割で賄う仕組み。町は月割で恒道会に支払っている。職員への支払い状況については確認をしていく。

Q 恒道会は3年間連続の1億円近い赤字決算で、現理事会に改善を望むことは難しいのでは。

A 恒道会は3年間連続の1億円近い赤字決算で、現理事会に改善を望むことは難しいのでは。町が保険者として理事を出すことが運営を変える一つの方法ではないのか。

A 県からの勧告があったことは認識している。

Q 待機者がある中で、一つのベッドの重みを感じる。二宮町にも介護離職の実態はある。空きベッドがある分、手が離せず働けない人が生まれつつある可能性がある。満床にする計画を具体化する。第6期介護保険事業計画にうたう地域密着型サービスの確保・実

現を求める。「公共施設再配置・町有地有効活用」の中で介護施設の設定・誘致を検討したか。

A 民間の参入の可能性があつて施設整備が実現すると考えている。

Q 高齢者・障がい者福祉への町民の関心は高い。介護施設・誘致の方向性を打ち出すべきでは。

A マーケットサウンディングを通して可能性を探っていく。



施設介護で重要な役割を担う
「もともちの家」

教育福祉

常任委員会

委員会では、平成27年1月より継続調査事項として健康条例「大人も子どもも輝く里づくり心身きらり条例」の制定を目指してきた。

町民の皆さまからは1月と7月の2回、意見交換の場で貴重なご意見をいただいた。いくつかを紹介する。

○条例の目的は何か。具体的な数値（特別会計を減らす、健康寿命が延びるなど）で表すべき。

○高齢者向け健康事業は、参加者を増やすPRの仕方があるのではないか。

○条例制定後に健康フォーラムを開催し、講演会や展示、体力測定、意見交換などをし、町民に見える形で盛り上げてほしい。
○条例を作っただけで

はダメ。官と民が一緒にならないとうまくいくはずがない。

○自分の体は自分で守るという意識や自覚が薄いのではないか。

○平成30年度から県が国保保険料をある程度決めるようになる。医療費がかかっている自



体力測定は健康づくりの第一歩
(二宮町総合型地域スポーツクラブ主催)

治体は保険料を上げるとなってしまう。このタイミングで健康条例を作るのは非常に良い。

○意識を変えるための条例でもあるから、町民と対話して作って欲しい。

○健康は自己目標。達成したらポイントがも

らえるようにしたらどうか。

○子どもについて書いてある部分が少ない。

○ヘルスという言葉とともに「ビューティー」という言葉を入れるなど、興味を持たせる工夫がほしい。

教育福祉常任委員会

健康条例制定に向けて作業中！

町の小さな公園について考えよう

総務建設経済常任委員会

総務建設経済

常任委員会

町内には73ヶ所の公園があるが、平成26年「子ども・子育て支援新制度」の一環で実施された乳幼児を持つ母親へのアンケート調査では、不満や要望があるものとして、公園を

挙げた人がもつとも多かった。

委員会では42ヶ所の公園を視察。利用者の声を聞くため、7月にグループ対話形式の意見交換会を行った。出された意見をいくつか紹介する。

○地域の利用者などで公園ミーティングを持

ち、町主体でなく地域で公園のあるべき姿をマネジメントする仕組みが欲しい。

○話し合いの場に子どもを参加させたい。

○用途による、時間、空間の住み分けが必要で、目的にあった特色ある公園を作るべき。

○東大果樹園跡地で開催される子どものイベントには毎回300人から400人の参加がある。遊具よりも、自由で創造的な遊びが必要。

○公園は「子育ては大仕事」とする町の姿勢を表現しているはず。↘



子どもが集まる通称ライオン公園
(中里)地域の方の見守りもある

その後、条例の前文や条例文を作成し、担当課と議論を進めている。条例案は今年度中の上程を目指し策定中。

また「地域と学校のあり方」については引き続き調査していくが、今後コミュニティスクールの先進地を視察していく予定。子どもたちにより良い学習環境を提供できるようにしっかり調査していきたい。

またこのような場を継続的にもって欲しいという声も頂いた。今後も公園のあり方を町民の皆さまと共有して改善につなげたい。

二宮町議会、8月より ICT機器の利用始まる

議会では使用基準を定め、8月からパソコンやタブレット等、ICT機器の使用を開始した。使用の狙いは、個人でまとめたデータや外部データの活用、ペーパーレス化の推進等。




本会議での利用が初となる9月議会では、一般質問や総括質疑、委員会審査で資料を閲覧したり、記録するなど利用された。

今後は、議会と行政側との間での情報の共有や傍聴者への資料のスクリーン表示など更なる活用を図る。



事業に対する評価を通年で 事業効果検討委員会発足へ

議会は2月、議員有志の事業効果チームを作り、「町事業に対する評価を進め、予算編成に活かすための検討」を開始。9月の議会全員協議会で次の方針を決定した。

-  事業効果検討委員会を議員全員で設置。
-  委員会は各事業に対する評価を通年でを行い、議会として予算編成と執行に反映させる。
-  当面、予算・決算の審査は特別委員会を設置。現行と同じ方法で進めるが、将来、常任委員会で予算・決算の審査を行うことも視野に入れる。

検討委員会は先進地の視察を含め研究を進め、活動を具体化していく。

近隣市町村議会を紹介するシリーズ 第2回 議会ご近所めぐり 中井町議会

中井町議会は12名で構成。委員会は総務経済、文教民生の常任委員会に加え、議会運営委員会、議会だより編集委員会、広報広聴委員会が設置されている。

平成25年4月には自治基本条例が施行され、今年度の4月に発足した広報広聴委員会では、各自治会長を中心に地区要望を聴取しているとのこと。

予算決算審議は、二宮町議会のように特別委員会は設置せず、審査は議員全員で本会議にて行い、質疑および討論の後、即決する。

新規事業や議会から求めたことは、議会全員協議会で説明がある。

自治体によってさまざまな違いがあり、参考にしながら議会改革を進める。

富山市議会で話題に・・・政務活動費 二宮町議会ではどうなの？

富山市議会の政務活動費不正使用は衝撃的な出来事があった。二宮町では次の通り運用している。

【支給額】1人年間9万円（1か月あたり7,500円）

【使い道】基準を定めている。議案の審議・町政の施策に関連する調査、広報広聴などに限定。交際費的な支出、通常の通信費やガソリン代、事務所管理の経費などは認められない。視察は、目的・内容・支払明細などを含む報告書を作成。

【使用状況の公開】町ホームページで議員別収支一覧を公開。収支報告書と領収書など添付書類は議会事務局で閲覧できる。

町民の大切な税金！政務活動費を使って最大の効果を上げていきたい。



編集後記

「みなさまに読んでいただきたい！」とひたすら考えてきた2年間でした。例えば議案の賛否の討論を載せるようにしたのは、各議員の考え方がわかるように。レイアウトを大胆に変えたのは議会で注目されたことが見えるように。構成や表紙、フォント、色合いにいたるまで試行錯誤を繰り返してきました。二宮町議会ほど、委員が議会だよりの制作に時間を割くところはないかもしれません。

さて、次号から編集委員の構成が変わります。新たな委員の試行錯誤も楽しんでいただけたらと思います。2年間ありがとうございました。（露木）



ぜひ町民の皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください。

議会だより編集委員会
委員長 二見 泰弘
副委員長 露木 佳代
委員 桑原 英俊
委員 柳川 駅司
委員 一石 洋子
委員 渡辺 訓任

主催:二宮町議会

みんなで話したい
学校のこと、公共施設のこと

11月5日(土)、6日(日)は 議会報告会&意見交換会の日

テーマ：地域と学校のあり方、公共施設の将来構想

5日(土)山西防災コミュニティセンター 10時~12時

6日(日)町民センター2Aクラブ室 10時~12時

6日(日)百合が丘児童館 14時~16時

当日ご参加いただけない場合、メールでもご意見を賜ります
お子さま連れ、大歓迎です!!

